

# 自衛隊が浸透する教育現場 大阪市立学校の実態

伊賀

## 大阪市立小中学校の教育活動における自衛隊の活用状況について

### 1 小学校 活用なし

### 2 中学校 下表のとおり

| 内容    | 平成 25 年度                                |    | 平成 26 年度                         |    |
|-------|---|----|----------------------------------|----|
|       | 校名                                      | 校数 | 校名                               | 校数 |
| 職場体験等 | 春日出、此花、蒲生、茨田、築港、西淀、歌島、新東淀十三、美津島、本庄、真住阪南 | 13 | 茨田、横堤、西淀、十三、美津島、本庄、相生、天下茶屋、成南、阪南 | 10 |
| 防災訓練等 | 南、大正西、本庄南港南、天下茶屋                        | 5  | 横堤、南、南港南天下茶屋                     | 4  |

※平成 24 年度までは資料不存在

大阪市教委資料

## 1. 職場体験（総合的な学習）

### ■ 防衛省

#### ■ 「総合的な学習の時間」(文部科学省所管)への協力内容

平成14年度から実施されている新学習指導要領において新設された「総合的な学習の時間」に対して防衛省としても協力しており、次のような内容を準備しております。

詳しくは、[各自衛隊地方協力本部](#)にお問合せください。

#### 1 協力内容

部隊見学、隊内生活体験 など

#### 2 具体的内容

防衛問題・自衛隊に関する説明  
手旗、結索(ロープワーク)  
隊内見学及び装備品などの見学  
訓練の見学  
艦艇見学(体験航海を含む)  
自衛隊車両等の体験搭乗  
防衛省・自衛隊に関するビデオの上映  
隊員との懇談 など

#### 3 協力メニューの一例

| 協力メニュー       |   |
|--------------|---|
| 項目           | 内容  |
| 自衛隊の活動について説明 | 自衛隊の活動について、具体的事例により説明(ビデオ上映もあります。)<br>私たちの国の防衛<br>災害派遣活動<br>国際平和協力業務(PKO)など<br>国民と自衛隊 |
|              | 装備の紹介<br>陸上自衛隊:各種車両など<br>海上自衛隊:各種艦船など<br>航空自衛隊:各種航空機など<br>隊員との懇談                      |
| 野外実習         | 隊内見学及び装備品見学<br>部隊内施設の見学<br>車両、艦船、航空機等の見学<br>手旗、ロープワーク<br>部隊における訓練の見学                  |

■大阪市立天下茶屋中学校職場体験学習(2014.7)

2年生9名が、29カ所の事業所で職場体験学習を実施。そこに自衛隊の体験件も含まれていた。



■大阪市立相生中学校職場体験(2014.5)

15名の生徒が、職場体験を実施。2日間の訓練体験では、基本教練、ロープ訓練体験、衛生教育、ドーラン体験、装備品展示が行われた。



敬礼動作の体験



ロープを使って、懸垂降下

■大阪市立茨田中学校・新東淀中学校 職場体験(2013.6)



基本教練



コンパス行進

■ 大阪市立南中学校防災イベント(2014.2)



オートバイ試乗



軽装甲機動車の説明

■ 4校合同職場体験(大阪市立蒲生中学校・東大阪市立柏田中学校、東大阪市立盾津中学校・八尾市立久宝寺中学校)(2013.10)



精神訓練



武器の見学



ドーラン体験



行進訓練

## 2. 防災訓練

### ■南港南中学校・海の町連合会 防災訓練(2013.11)



破壊構造物探知機



高機動車の試乗

## 3. 今後、広がる恐れがある内容

### ■「被災地支援」は名目か？——中学校で自衛隊員が授業

現職自衛隊員が中学校の道徳の授業に招かれ、自衛隊の活動をアピールしていたことがわかった。

東京都教育委員会は、二〇〇二年から全都の公立小中学校に年一回の「家庭・地域と連携した道徳授業地区公開講座」実施を義務付けた。この講座の一環として、東京・国立市立国立第一中学校は一月五日、全学級ゲストティーチャー（GT）を招いた。一年生のあるクラスでは、自衛隊員二人が「東日本大震災・被災地支援の写真」を示し、「隊員の活躍はやさしさ・思いやりがないとできないこと」などと講義したという。

一二月八日の国立市議会定例会で、上村和子議員は「参観した保護者数人が『やさしさ・思いやりという共通テーマと全く関係なかった』と言っている。また、学習指導案に明記された隊員とは別の隊員が来たのも問題」と追及。これについては是松昭一教育長は「組織の事情で変更された」と答弁。来校した隊員は東日本大震災の現場には行っておらず、「自衛隊なら誰でも」という人選だった。

関係者に問うと、「GTのうち、福祉関係者らは町内会の人に依頼。だが自衛隊は、一年の教諭たちが東京地方協力本部・国分寺募集案内所に直接依頼し、固まった段階で久家義久校長が正式に依頼状を出した」と回答。ある教諭に「職員会議で反対意見は出ないのか」と問うと、「職員会議は議論する場でなくなりました」と答えた。

週刊金曜日より